



# 森記念秋水美術館

MORI SHUSUI MUSEUM OF ART



森記念秋水美術館は、リードケミカル株式会社が収集してきた日本刀を中心とした美術品を公開するために、富山市千石町に建設された美術館です。日本固有の美術品を広く公開し、そして後世へ伝え続けることはもちろん、富山市中心市街地の活性化・発展に努めることも目的としています。

この美術館の美術品は、「日本の美意識」と「日本人の精神性」を強く表現しています。この美術品のメッセージを、建物本体でも具現化出来るように、

- ・「和の表現」 - 「四季」、「光と影」、「非対象」、「間合い」
- ・「和の素材」 - 「鉄」、「和紙」、「石」、「木」
- ・「和の色彩」 - 「墨色」、「鳥の子色」、「石板色」、「文人茶」

をデザインコンセプトとして、和の美術館としての空間づくりを目指しました。

また、この美術館の日本刀コレクションは、全国でも有数の作品を蔵していることから、曇りのない研ぎ澄まされた日本刀を意味する「秋水」を名称としています。さらに、シンボルとなるロゴマークも日本刀をモチーフとしたデザインとしています。



所在地	富山市千石町 1-3-6
構造規模	鉄筋コンクリート造 4階
敷地面積	1,068 m <sup>2</sup>
延床面積	2,078 m <sup>2</sup>
建築面積	774 m <sup>2</sup>

外部は、アルミキャストを中心に、チタン合金、タイル、塗壁、一部で木を使用して、現代の素材で和の美術館を表現し、また、夜間には、中心市街地の行灯としての役割も演出しています。

内部は、玄昌石、珪藻土、木の組子格子、鉄のサインや手スリを使用し、和の表現・素材・色彩を徹底しています。



3階 ロビー



3階 鑑賞室



研修室 霜華



2階 ロビー



2階 鑑賞室



和 Cafe Shusu

担当：稲葉 実、尾久 彩子、矢後 勝、島崎 勉、伊藤 幸子、忠田 祥吾